

令和6年度行政評価 施策評価シート (令和5年度実績)

施策名 下水道整備の推進

施策コード 5060302

1. 施策の担当	
主管課	上下水道局 経営総務課
関係課	下水道整備課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 快適で住みやすいまちづくり (快適・憩い・生活基盤)	第3節 上下水道
	施策	下水道整備の推進	

**基本方針**

- 汚水の整備については、事業量の拡大により人口普及率の向上を図ります。
- 雨水の整備については、着実に整備を進め、市内の浸水被害の軽減を図ります。

**現況と課題**

- 下水道は、暮らしに必要な不可欠なライフラインであり、安全で快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全を図るための重要な役割を担っています。
- 公共下水道汚水整備に係る人口普及率は、45.2% (2023 (令和5) 年度末) と府内でも低水準にあり、水洗化率は89.2%となっております。なお、2023 (令和5) 年度の公共下水道及び浄化槽を含めた生活排水処理率は84.23%となっております。
- 公共下水道雨水整備については、主要な幹線管渠整備率は90%以上に達しており、今後も市内の浸水被害軽減に向け、着実に整備を進めるとともに、引き続き施設 (雨水ポンプ場) の老朽化対策を実施していく必要があります。
- 下水道事業については、2020年度 (令和2年度) に地方公営企業法を適用、公営企業会計へ移行し、下水道経営に取り組んでいます。

**施策目標**

**対象 (誰を、何を、どこを)**  
市民

**意図 (どのような状態にしたいのか)**  
快適で衛生的な生活環境を守り、安全・安心な暮らしの実現。

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度 (偏差値)	48.1						
重要度 (偏差値)	65.4						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R4決算	R5決算					
コストの内訳	人件費	千円	14,695	15,060				
	事業費		46,636	52,882				
	フルコスト		61,331	67,942				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		3	4				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		61,328	67,938				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		46,633	52,878				

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		下水道処理 (汚水) 人口普及率					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	42.0	43.0	44.0	45.2	46.4	47.6	48.8
実績値	42.6	44.3	45.2				
達成度	101.43	103.02	102.73				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
下水道整備の進捗状況を人口に占める割合で表した指標で、下水道の普及状況が把握できます。(総人口に対して、公共下水道を利用することができる人口の割合)		市民の快適で衛生的な生活環境を守るため、汚水整備を進め、事業量の拡大により人口普及率の向上を推進します。令和元年度より事業量を拡大し、下水道人口普及率を年約1.0%から1.2%と段階的に上昇させることを目標に、効率的な整備を進めます。			下水道整備事業の進捗によるもの。		

② KPI 2		下水道処理（污水）水洗化率					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	91.0	91.1	91.2	91.3	91.4	91.5	91.6
実績値	90.6	89.5	89.2				
達成度	99.56	98.24	97.81				

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
公共下水道普及人口のうち実際に下水道を利用している人口の占める割合で表した指標で、下水道実利用者の状況が把握できます。		R元年度以降は、年0.1%の増加を目標として設定している。		水洗化促進の継続的な啓発によるもの。			

③ KPI 3		生活排水処理率					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	80.98	82.62	84.01	85.67	87.34	89.0	90.67
実績値	82.65	84.23	78.01				
達成度	102.06	101.95	92.86				

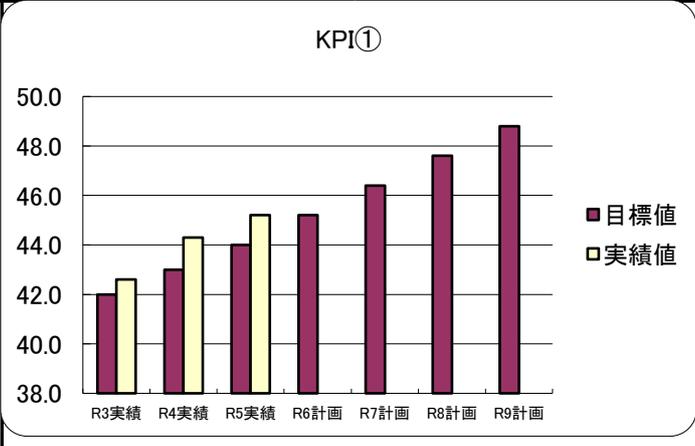
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
下水道、浄化槽等の生活排水処理施設による生活排水処理人口の総人口に占める割合で表した指標		泉佐野市生活排水処理基本計画（平成30年3月、令和3年12月改定）に示す目標値（表13）による。		環境衛生課による生活排水率の計算基準の変更によるもの。			

④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							

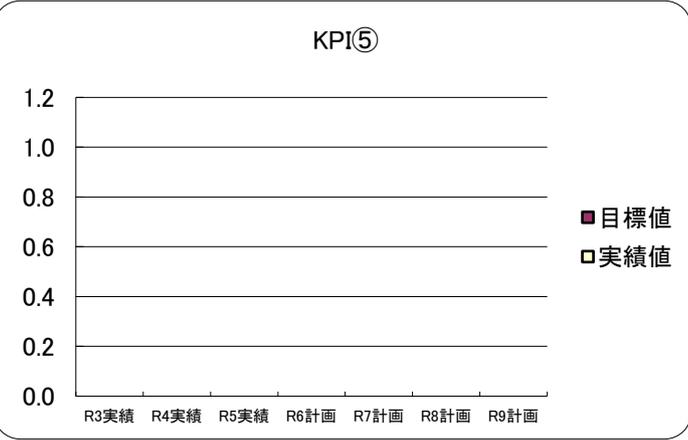
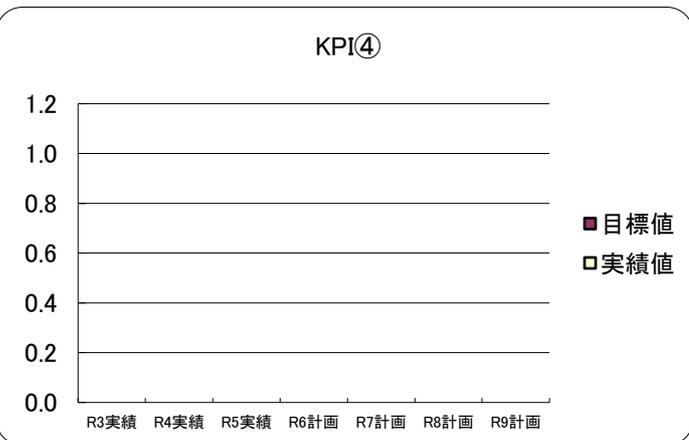
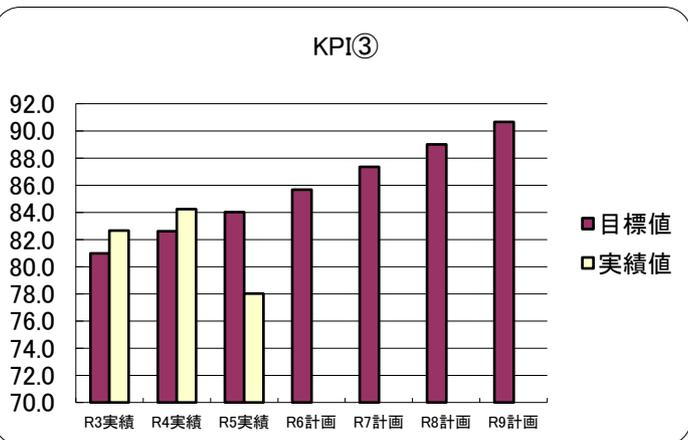
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							

KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			



図表



## 6. 施策の事後評価

6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>3</b>	本市の下水道事業は、当初は浸水対策等の「雨水」事業を中心に事業進捗してきたため、「汚水」の人口普及率については、府内でも低水準の進捗状況となっているが、健全かつ持続可能な下水道経営を鑑みながら、快適で衛生的な生活環境を守るため、下水道(汚水)の整備を着実に進めている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	令和4年度市民アンケート調査では満足度(偏差値)が50.1となり、平成30年度調査に比べ上昇した。重要度(偏差値)も83.0とH30年度調査に比べ微増しており、今後も満足度を上げる必要がある。下水道は暮らしに必要不可欠なライフラインであり、安全で快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全を図るため重要な役割を担っている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>3</b>	下水道事業の健全化に向け、収支のバランスが取れた、将来にわたり安定的かつ持続的な運営を推進していく中で、事業を進めていくことが必要。
	合計点	(10点中) <b>8点</b>	
	総合評価	<b>B</b>	下水道事業の健全化は順調に進んでいますが、今後も引き続き収支バランスを踏まえ、段階的に事業量を拡大し、普及率の向上に努めます。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>B</b>	引き続き、汚水人口普及率及び水洗化率の向上に努められたい。
三次評価 (理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		<b>B</b>	

## 7. 施策を構成する事務事業

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01039800	排水施設管理事業	15,060	52,882	52,878	0	B
合計			15,060	52,882	52,878	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	060302040	予算コード	01039800	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	排水施設管理事業	正規職員数	1.8	国庫支出金	0	有効性	A	今後の雨水整備に伴い、既設水路から雨水管への取り込み箇所が増加でスクリーン設置数も増え、維持管理の重要性がさらに高くなる。浸水対策用雨水ポンプについては、維持管理を適正に行い、浸水防除に努める必要がある。		
担当課	経営総務課	嘱託職員数	0.1	府支出金	0	効率性	B			
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	A			
		歳出(千円)		その他	4	受益者負担	該当なし			
		人件費総額	15,060	一般財源	67,938					
				減価償却費	0					
事務事業類型	施設管理事業	フルコスト(千円)	67,942	緊急性	C	事務事業実施内容				
実施手法	全部委託	市民1人当たりコスト(円)	686			し渣(ゴミ)と沈砂の収集を行う事により、浸水防除に努めた。また、大阪湾へのゴミの流出を抑える事により公共用水域の水質保全に努めた。				
対象		活動指標	R5実績	公的関与	A					
その他	対象数			し渣(ゴミ)と沈砂の収集と処分量	209.8					実施主体・委託化
スクリーンは市内一円に設置(103箇所)		管理する浸水対策用ポンプ台数	18.0	他の事務事業との関連	A					
事業の内容				成果指標	R5実績				透明性	B
①市内一円スクリーン清掃業務 水路の通水阻害とならないよう、適宜スクリーン清掃を行う。		し渣(ゴミ)と沈砂の処分量	209.8	適正に稼働する浸水対策用ポンプ台数	18.0				財政健全化計画	該当なし
②浸水対策用ポンプ点検業務 計画以上の降水量による浸水の発生に対応する為、その対策として浸水対策用雨水ポンプを設置。降雨時に適正に稼働するよう定期的に保守点検(5回/年 11箇所18台)している。									財政健全化の取組	該当なし
③円田川排水ポンプ設備維持管理業務 施設が適正に稼働するよう定期点検を実施。ゴミを当ポンプ場で引き上げ処分する。				コスト指標	R5実績				改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的		し渣(ゴミ)と沈砂の処分量当り経費	247,303.0							
①水路の溢水防止や家屋の浸水防止とその他の施設の適正な管理		管理する浸水対策用ポンプ台数当り事業費	107,211.0							
②円田川の環境美化の推進とその他の施設の適正な管理										